

# こどもと健康

NO・161 2015・10・28

## インフルエンザワクチンを接種しましょう！

10月1日からインフルエンザワクチンの予約の受付を始めました。携帯電話、パソコンから下記アドレスにアクセスして予約をお願いします。13歳未満は2回接種ですので4週間隔(3～5週で可)で2回とも予約して下さい。受験生の方には2回接種をお勧めしています。年内に接種を終了するようにしましょう。今シーズン、WHOの勧告により日本でも3価ワクチンから4価ワクチン(A香港型、A pd m 0 9型とB型ビクトリア系, B型山形系)に強化されました。それに伴い、ワクチン納入価が500円余り値上げされましたが、今年の接種料金は一部を除き、据え置きました。

アメリカ小児科学会も9月8日、「生後6か月以上の小児全員にインフルエンザワクチンの接種を行う必要がある」と勧告し、併せて「幼い乳児を守るため、同居家族、養育者、医療関係者、保育関係者とインフルエンザシーズンに妊娠している、妊娠を予定している、分娩後である、授乳中である女性全員のワクチン接種」を推奨しています。

6か月以上3歳未満は初回3000円、2回目2500円、3歳以上は初回、2回目共3000円とします。65歳以上の堺市民は1500円です。

確保したワクチンが無くなり次第、受付は一旦中止します。ご不明な点はホームページ、受付まで。電話による予約も可能です。

<http://0722977771.com/i/>

幸い、今のところ、流行の兆しはありません。全国の感染症サーベイランスでも10月12～18日の第42週ではインフルエンザ4927定点で370件の報告があり、1定点当たり、0.08と流行の始まりの定点当たり1.0を下回っています。一時沖縄県で3.9まで上昇しましたが今週も全国1位でしたが、定点当たりは1.00でした。大阪府では0.04となっています。昨年は例年より早く12月から流行が始まり、12月15日からの第51週には全国平均で定点当たり15.2、大阪府17.8と注意報レベルの10を超えました。

流行前にワクチン接種をお勧めします。

## RSウイルス感染症、流行中！

例年、寒くなるとRSウイルス感染症が増えてきます。RSって何？と思われる方も多いでしょう。Respiratory Syncytial の略で要するに風邪のウイルスの一つです。このウイルスの感染力は強く、保育所を中心に流行します。年長児以上は鼻カゼ程度でおわるケースもありますが、乳児が罹ると重症化することがあります。インフルエンザウイルスと同じく、冬のウイルスですが、ここ数年は9月から流行しており今年も9月になって全国的に患者数が増えてきました。

潜伏期は4～5日で鼻水、鼻づまり、咳があり、発熱を伴います。乳幼児特に、6ヶ月未満の乳児が罹ると、更に喘鳴（ヒューヒュー、ゼーゼー）を伴った咳をして高熱も出て呼吸数も増し、息苦しくなることがあります。ウイルスを含んだ鼻汁や分泌物が気管支に流れこむ為、気管支炎から細気管支炎が起こるのです。次第に哺乳できなくなり、新生児では無呼吸になることもあります。乳児は急速に気管支炎、細気管支炎から気管支肺炎となることがあるので、注意が必要です。ありふれたウイルスですので、1歳までに半分、2歳までに殆んどの子が一度は感染を受けますが、初感染の時に最も症状が強く出ると言われます。何度でも罹患しますが、年長児になると次第に症状は軽くなり、鼻カゼ程度で終わる子もいます。お母さんからの免疫移行がない為、お母さんの鼻カゼから新生児が罹患して重症化することがあります。未熟児や先天性心疾患、慢性肺疾患の乳児には重症化を予防する為、抗RSウイルスヒト化モノクロナール抗体（シナジス）の注射を流行期の秋から春にかけて月1回注射して感染を予防することが出来ます。

インフルエンザと同じく飛沫感染をしますが、経口感染もあって赤ちゃんはなんでも口に入れますので、注意が必要です。感染の予防にはうがい、手洗いとアルコールによる消毒です。風邪をひいたら、咳エチケットを守り、特に赤ちゃんが口に入れるおもちゃやドアノブ等を消毒しましょう。家庭に乳児がいる場合は家族が鼻カゼ程度でも注意が必要です。

大阪府の感染症サーベイランスでは10月12日からの第42週では感染性胃腸炎に次いで第2位にランク、当分注意が必要です。年齢別では0歳児が33%、1歳児までで73%を占めます。寒くなるにつれて増加し、例年、年末に流行のピークとなり、春まで流行が続きます。RSウイルスの迅速検査がありますので、ヒューヒュー、ゼーゼーを伴う乳幼児は早めに受診しましょう。

## 福島原発事故後の子どもの甲状腺がん

4年前の福島第一原子力発電所で発生した事故後、放射線暴露後の小児の甲状腺癌の増加が心配されていますが、国際原子力監視機関（IAEA）は「甲状腺癌が増加している可能性は低い」という報告書を公表した。しかし、日本では現在も小児甲状腺癌の綿密な調査が継続されており、一部に若干増加しているとの調査報告もあって、最新の調査結果が注目される。

## かたぎり小児科のホームページ

<http://www.katagiri-shounika.com> か、 堺市 かたぎり小児科

かたぎり小児科のホームページには毎月発行している「こどもと健康」や最新の感染症情報を毎週掲載しています。その他、休診日やホットな話題も載せていますので、アクセスしてください。

## 年末年始の休診のお知らせ

12月29日（火）迄平常通り、30日（水）は午前中診療。1月4日（月）は休診、5日（火）から平常通り、診療します。